

CO₂を高度利用したCARBON POOLコンクリートの開発と舗装および構造物への実装

事業の目的・概要

【研究開発項目1】セメント焼成工程などで発生するCO₂を、コンクリート由来の産業廃棄物に固定化させるという**地域内循環**を構築し、さらに新たな技術を用いて引き渡しまでに**CO₂固定量を最大化**したCARBON POOL (CP) コンクリートを開発する。CPコンクリートの施工性や耐久性を確保し、**舗装のみならず、建築・土木構造物にも実装**する。

【研究開発項目2】LCCO₂・LCA・LCCの総合評価システムを構築することにより**ESG金融の促進**や**カーボンプライシングをサポート**し、脱炭素社会に貢献する。

実施体制 ※太字：幹事企業

株式会社 安藤・間、株式会社内山アドバンス、灰孝小野田レミコン株式会社、大阪兵庫生コンクリート工業組合、大成ロテック株式会社、一般財団法人電力中央研究所
 (再委託予定先：株式会社浅沼組、青木あすなる建設株式会社、日本道路株式会社、株式会社佐藤渡辺、国立大学法人東京大学、公立大学法人東京都立大学、国立研究開発法人国立環境研究所、明星大学)

事業規模等

- 事業規模 (1 + 2) : 約100億円
- 支援規模 (1 + 2) * : 約88億円
 *インセンティブ額を含む。採択テーマの提案総額であり、今後の手続きにより変更の可能性あり
- 補助率など
 - 1 (委託) 9/10 → (補助) 2/3 → 1/2 (インセンティブ率は10%)
 - 2 (委託)

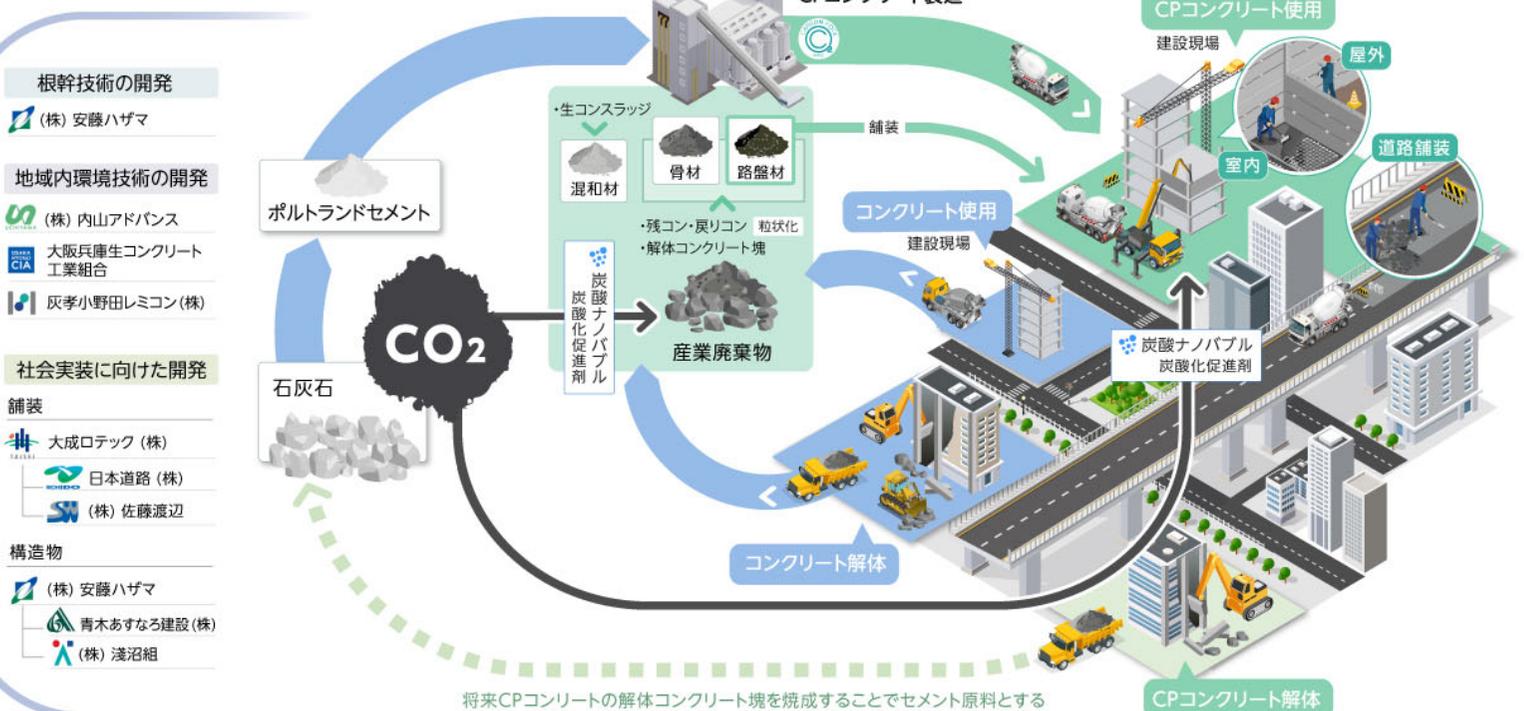
事業期間
2021年度～2030年度 (10年間)

事業イメージ

LCCO₂・LCA・LCC 総合評価設計システムの構築



CARBON POOLコンクリートの開発と実装



出典：株式会社 安藤・間、株式会社内山アドバンス、灰孝小野田レミコン株式会社、大阪兵庫生コンクリート工業組合、大成ロテック株式会社、一般財団法人電力中央研究所